

名鉄瀬戸線 立体交差事業（小幡駅～大森・金城学院前駅間）における 土壌調査状況の報告について

名古屋鉄道では、事業主体である国土交通省中部地方整備局および名古屋市とともに、瀬戸線 立体交差事業（小幡駅～大森・金城学院前駅間）に伴う鉄道高架化工事を進めております。

このたび、当該施工区域（鉄道用地）において、自主的に土壌調査を行った結果、一部の土壌より基準値を超える特定有害物質が検出されたため、本日、名古屋市環境局に報告しましたので、お知らせいたします。

1. 検出箇所

名古屋市守山区小幡5丁目、大谷町、茶臼前、喜多山1、2丁目地内
(別紙参照)

2. 調査結果

採取した土壌のサンプルを分析した結果、次表のとおり、基準値を超える特定有害物質が検出されました。

	特定有害物質	基準超えの濃度範囲	基準に対する倍率	指定基準等	基準超数／調査数
土壌溶出量調査	鉛及びその化合物	0.011～0.21mg/L	1.1～21倍	0.01 mg/L以下	31/157
土壌含有量調査	鉛及びその化合物	160～520mg/kg	1.06～3.46倍	150 mg/kg以下	8/24

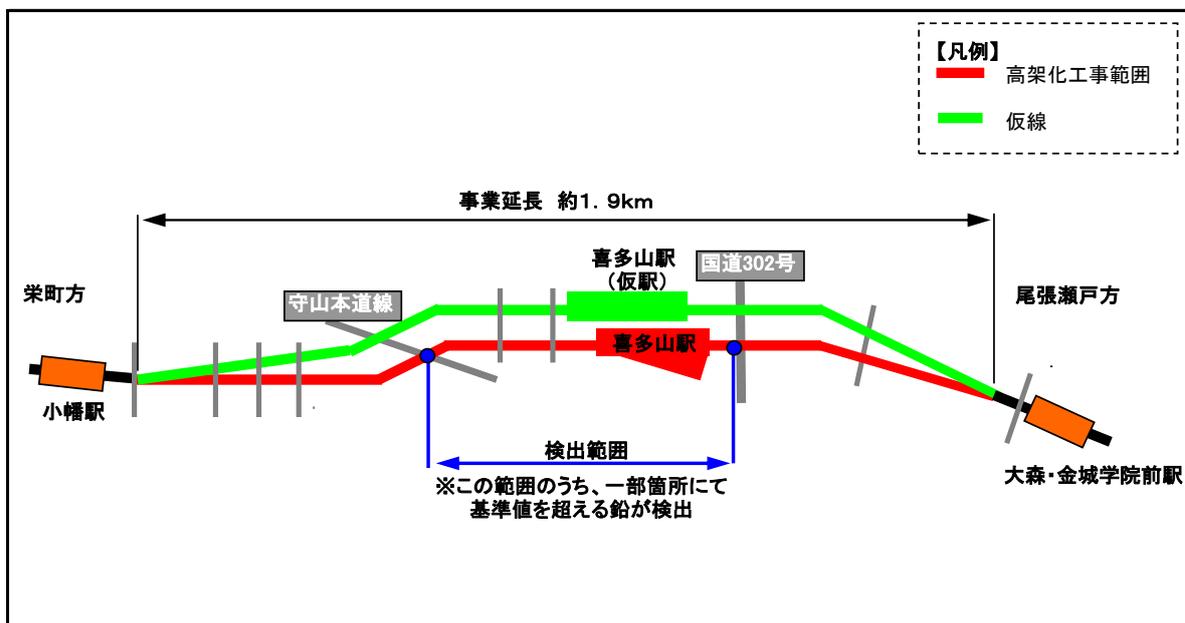
なお、当該現場については、全て仮囲い等で工事関係者以外の立ち入りは制限されているとともに、基準値を超過した箇所については、施工区域外への土の飛散や流出防止等の措置を講じております。

3. 今後の対応

基準値を超過した箇所については、名古屋市環境局の指導の下、適切な処置を実施したうえで、鉄道高架化工事を進めてまいります。

以上

【概要図】



参考

事業の概要

1. 事業名／名古屋鉄道瀬戸線（小幡駅～大森・金城学院前駅間）立体交差事業
2. 事業主体／国、名古屋市
3. 事業区間／名古屋市守山区小幡南二丁目～守山区大森二丁目
4. 事業延長／約1.9km
5. 交差道路／12路線
6. 踏切除却数／9箇所（1箇所は除却済み）